



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department

Av. Paulista, 1274 – Bela Vista

São Paulo, SP – 01310-925

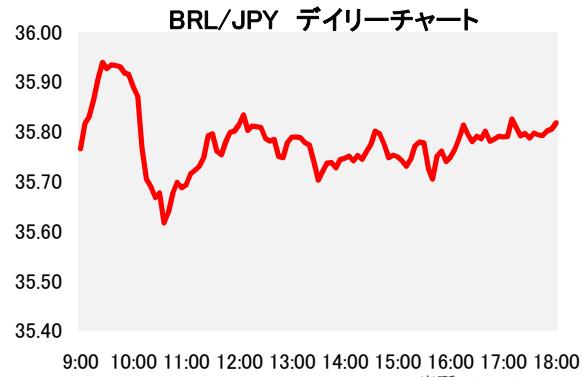
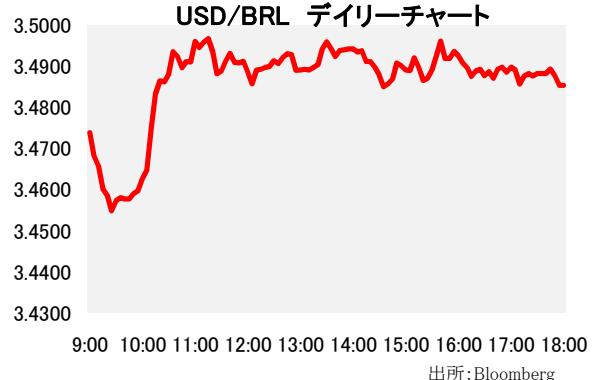
1. マーケット・レート

			7月30日	7月31日	8月3日	8月4日	8月5日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.3710	3.4210	3.4510	3.4710	3.4850	+0.0140
	BRL/JPY	Spot	36.82	36.21	35.94	35.83	35.82	-0.01
	EUR/USD	Spot	1.0933	1.0984	1.0952	1.0884	1.0907	+0.0023
	USD/JPY	Spot	124.14	123.89	124.03	124.38	124.86	+0.48
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	14.164	14.183	14.247	14.238	14.240	+0.002
	Future	1Year(p.a.)	13.940	13.951	14.082	14.091	14.101	+0.009
	On-shore	6MTH(p.a.)	1.770	1.847	1.946	2.120	2.246	+0.126
USD	USD	1Year(p.a.)	2.390	2.448	2.587	2.736	2.876	+0.140
株式	Bovespa指数		49,897	50,865	50,138	50,058	50,287	229
CDS	CDS Brazil 5y		287.13	292.00	300.95	303.84	305.43	+1.59
商品	CRB指数		204.717	202.572	199.303	200.870	199.778	-1.09

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
(米)MBA住宅ローン申請件数	--	4.7%	0.8%
(米)ADP雇用統計	215K	185K	229K
(米)貿易収支	-\$43.00B	-\$43.84B	-40.94B
マーケット・ブラジルPMIコンポジット	--	40.8	41.0
マーケット・ブラジルPMIサービス業	--	39.1	39.9
(米)ISM非製造業景況指数	56.2	60.3	56.0
商品価格指数(前月比)	1.50%	2.77%	-0.01%
商品価格指数(前年比)	--	15.93%	10.71%



3. 要人コメント

レヴィ伯財務相	ブラジルの公共会計は構造的な不均衡を抱えている。歳出がブラジル経済の安定性にとってリスクとなっている。
---------	---

4. トピックス

- 本日のレアルは3.4800で寄り付いた。朝方発表された米ADP雇用統計が予想よりもかなり弱く、前月分も下方修正されたことを受けて、金曜日に発表される米雇用統計への警戒感が強まりドルが全面安となった。レアルは本日の高値となる3.4530をつけた。しかしこの水準ではレアル売り圧力が強く、レアルは上値を抑えられた。その後発表された米ISM非製造業景況指数が予想を大きく上回り10年ぶりの高水準となると、9月利上げ期待が高まりドルが急反発した。レアルは本日の安値となる3.4980を示現した。3.50割れが目前に迫るも新規材料に乏しく、安値警戒感からレアルは3.49を挟んでの揉み合いに転じた。結局、3.4850でクローズした。
- 米エネルギー情報局の在庫統計では原油在庫が先週から減少したものの、在庫水準が依然として高いことを材料に原油は売られた。WTI先物9月限月ものは一時45ドルを割り込み、44.83をつけた。WTI期近ものが45ドルを割り込むのは今年の3/20以降始めてとなっている。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布することはできません。